

	<h1>学校だより</h1>	<p>令和2年4月17日 4月号／臨時号 12学級 356名 墨田区立花 1-18-6 電話：3618-4911 校長 向井 一郎</p>
<p>墨田区立立花吾孺の森小学校 <a href="http://www.sumida.ed.jp/tachiazusho/">http://www.sumida.ed.jp/tachiazusho/</a></p>		

## 家庭での学習の進め方

学校長 向井一郎

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための、休業期間が長く続いています。各ご家庭で児童の生活リズムを整え、健康の維持に努力されていることに感謝しております。

今週、一年生から6年生まで、曜日ごとに電話で家庭に連絡させていただきました。どのご家庭でも、できる限り子供たちを人と接するような場所へ出ることを避けるように努力、ご苦労されていることが分かりました。季節も暖かくなり、本来ならば屋外で思い切り走り回ったり、週末にちょっと遠出を試みたりと、楽しいはずの頃です。大人も子供も、今は5月になり感染の拡大が収まることを信じて、静かに過ごしていかななくてはならないと思っています。

さて、そのような中で、学年ごとに新しい教科書が配布されます。今年度から新学習指導要領による学習が本格的に始まり、教科書もすべて改訂されています。ご兄弟のいらっしゃるご家庭は、各教科の教科書の厚さが変わったことに驚かれるかもしれません。また、教科によって、新たに加わった内容などもあります。おうちの方の目で一度内容をご確認いただくと、前年度までの学習内容が定着していないと大変だということが分かっていただけたと思います。

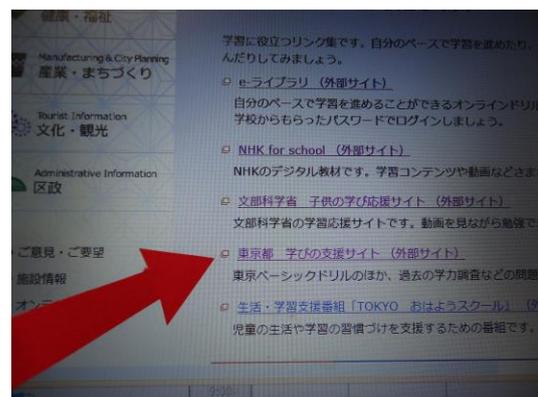
そういう中で、今の休業期間があります。是非、この期間中に、これまでの学習の復習(振り返り)を中心に行ってみてください。そういう視点で考えると、ホームページ上で紹介している様々な学習サイトの迷路の中で迷わなくて済むと思います。(各ご家庭からの声の中に、どのページの何を行えばよいのか分かりにくいというものがありませんでした。)

## 「あずまのさん」の学習場面

どうすれば良いのか迷っている「あずまのもり子さん・3年生」への説明を例にしてみます。できれば、お子様に読んであげてください。

1 学校のホームページ上にある「レッツスタディ@home」を開くと墨田区のホームページにつながるよ。

いろいろなサイトが乗っているけれど、まよわず「東京都 学びの支援サイト」につないでごらん。



2 まず、一日の時間割を作ってみましょう。(自分流の手書きの方が楽しいです。休み時間の部分に、ゲームなどを入れてもいいですね。)おつ、毎日1時間目は算数にしたのですね。すばらしい!

では、ノートを一冊用意しましょう。(どんなノートでもいいです。)

わたしの時間わり

	月	火	水	木	金
①	さんすう	むげう	さんすう	さんすう	さんすう
②	こくご	りか	しかい	こくご	こくご
③	こくご	こくご	りか	しかい	こくご
④	こくご	しかい	こくご	こくご	こくご
⑤	りか	こくご	こくご	りか	こくご
⑥	しかい	こくご			

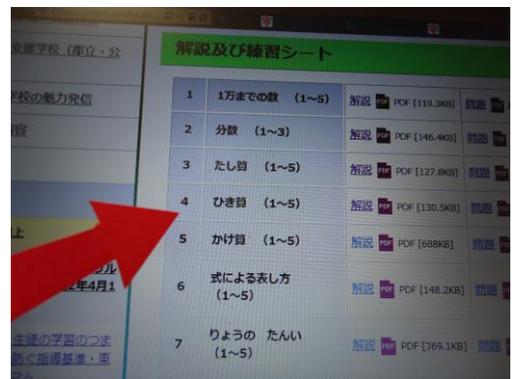
### 1時間目…算数

(もちろん e-ライブラリも役立ちますが、ここでは東京ベーシックドリルにしぼることにします。)

3 復習が大事ななので、2年生のものを選んでいくといいね。開くところは「東京ベーシックドリル」です。たとえば「2年生」を開いて、去年苦手だった「算数の引き算」を選んでみよう。「解説」を開くと、筆算の方法が書かれているので思い出しますよ。思い出してきたかな?では、問題を見て、ノートに写して解いてみましょう。あわてずに、落ち着いて。苦手だったものを頑張っているのだから、その一枚をまずやってみましょう。

4 ここでおうちの人に○付けをお願いできるといいのですが、いそがしいようなら自分で答え合わせをしてみましょう。間違ったものがあつたら、もう一回。同じ問題を解いてみましょう。

5 自信がついたかな。では、もう一枚、(2)の問題をやってみましょう。同じように答え合わせをしてみましょう。あつ、ここで1時間目は終わりの時間です。2時間目は読書だね。



### 2時間目…国語「読書」…「東京都の学びの支援サイ」からつながります。

6 おうちにある本の中でも、前に読んだことのある本をもう一度読んでみると楽しいよ。本に迷ったら「レッツスタディ@home」から「東京都学びの支援サイト」についなくと、一番下に「東京都立図書館」のホームページにつながるボタンがあります。開いてみましょう。おすすめの本が紹介されているよ。(現在、公営の図書館が閉鎖されているため、町の本屋さんで購八という場合もあります。)

### 3時間目…国語

7 2時間目に読んだ本について、用意しておいたノートにどんなことでもいいから書いてみましょう。お話の続きを考えてもいいし、感想を書いてもいいね。登場人物に手紙を書いてもいいよ。字の練習をするつもりで、丁寧に書くといいね。時間があれば、お話に関係のある絵を色鉛筆で描いておいてもいいね。

#### 4 時間目…国語「漢字」

8 だいぶ頑張ってきたので疲れてきたね。よし、ここからは漢字の復習だ。まずは、1 時間目と同じように「東京ベーシックドリル」の「2ねんせい かんじ(かく)」を開いてみましょう。算数と同じように、問題を見ながらノートに答えを書いていきましょう。一枚終えたら、答え合わせをします。大人の人にってもらえると本当はいいんだ。なぜなら、自分で○をすると、自分の間違いに気づかないことがあるんだ。そうそう、間違えた場合、書き順は確かめようね。とても大事です。間違えた字は、10 回、そのノートに繰り返して書いて練習しよう。まだ、時間があるから、もう一枚頑張ってみようか。

お昼ごはん……ここはおうちの人にがんばってもらおうね。でも、お手伝いできることがあったらやってみようね。今日は昨日のご飯の残りを使ってチャーハンだ。おいしそうだね。卵を割っておこうか。

#### 5 時間目……理科(理科は3年生からの学習なので、そのままの学年で進めます。)

9 おなかもいっぱいになり、少し眠くなったかな。よしがんばろう。5 時間目は理科の勉強。残念だけど、外で春の植物の観察はできないから、映像を見ることにしましょう。ここで役に立つのが「NHKfor スクール」だ。開けたかな。そうしたら、まずは「クリップ」を開いてみましょう。(いろいろな番組を見たいのをがまんして…)

すると、理科だけでも「3555 種類」もの映像があるんだ。見切れないぞ。そこで学年をしぼるんだ。「理科」「小3」でしぼるにしてごらん。それでも「743 種類」迷うな。まずは「昆虫すごいぜ！」を見てみようか。見終わるのに 44 分。ちょうどいいし、これから昆虫のことを勉強するので、予習にもなるね。(見終わったら、なんだか早く空き地で虫さがしを試してみたくなったぞ。前はきらいだったのに……)時間があれば、あのノート(そろそろ名前をつけてもいいね。「がんばりノート」がいいかな?)

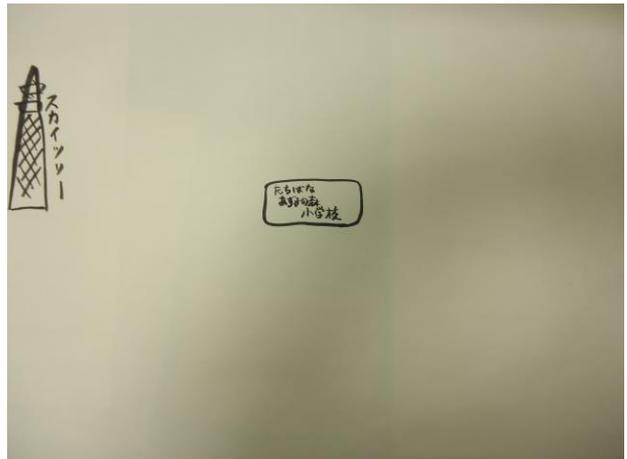


#### 6 時間目…社会科

(本当は、学校の周りを歩いたり、買い物をするだけでも良い発見、勉強ができるのですが、今はがまん。家の中で力をつけておきましょう。)

10 2 年生の時に、学校の周りを探検したことを覚えていますか。お店たくさんあったり、広い公園がいくつもありましたね。そうそう、学校からはスカイツリーも見えるし、校庭の向こう側には立花団地も見えます。「がんばりノート」に、そんなわたしの住んでいる町の様子を絵で描いてみましょう。うまくかけなくてもいいんです。①まずは真ん中に学校をかいてみましょう。(長方形をかいて、中に「たちばなあずまのもり小学校」と核だけでいいです。)次にノートの左の方に「スカイツリー」をかいてみましょう。(絵でもいいし、三角をかくだけでもい

いですよ。)後は、自分の家があるあたりを見つけて「わたしの家」学校までの様子をいろいろかいてみましょう。今日は、ここまでで十分です。明日も続きをかいて、だんだん詳しくしていくといいね。できあがったものを「絵地図」というんです。三年生の最初の大事な勉強です。これがあれば、学校が始まったときに、屋上から見て確かめることができます。すごく良い予習(前もつての学習の準備)になるんですよ。



ここまで、3年生のつもりで説明してきました。あれもこれもやろうとすると、世の中には数多くの役に立ちそうなオンライン教材があり、実際は迷ってしまうと思います。それぞれやることを絞り、算数はベーシック・ドリルでの復習、国語は読書と漢字の復習、理科は映像教材をNHKfor スクールを利用する。社会科は家の周りの絵地図づくりだけにするなど、決める方が良いと思います。もちろん学年により、都道府県名を復習したり、位置や県庁所在地を知っておくこと、さらに世界地図を眺めること、どんなことでも「あり」だと思います。ボール運動や、マット運動はできないけれど、ストレッチ体操ならば家の中でもできるでしょう。また、リコーダー練習、鍵盤ハーモニカなどは、家の中でならできると思います。おうちの人のアイデアで、もうしばらく、この休業期間の学習を工夫してください。困ったことがありましたら、学校に、いつでも連絡していただいて構いません。学校長指名をお願いします。

最後に、一番役に立つこと。それは、親子でたくさんお話をすることです。テレビ番組(どんなものでも良いです。)見終わって見て、感想を述べ合うのです。「今のあの場面、どう思う?」「あの芸人さん、あんなに笑われていたけど、平気なのかな?」長編ドラマ、映画ならばさらに良いです。主人公の気持ちを語り合えたら、それは「読み取りの学習」(読解力)でもあり、「対話の学習」にもなるのです。

毎日のニュースも、是非見ていくと、世界に関心が広がります。(特に高学年)

この機会を家庭学習を見直す、良い機会だととらえ、是非子供たちのために有効に活用してあげてください。